

## 高丘浄水場系のおいしい水ができるまで

おおむね苫小牧川を境に東側の市民には、勇払川、幌内川からの水を供給しています。

### 高丘浄水場 かんそく 緩速ろ過方式

幌内川と勇払川の原水を、緩速ろ過方式を用いて水道水に処理します。1日に4~5m流れる緩やかな速さで「おいしい水」を作っています。

#### 1 原水量水井



原水の量を測定し、6つのろ過池へ送る量を調整します。

#### 2 緩速ろ過池

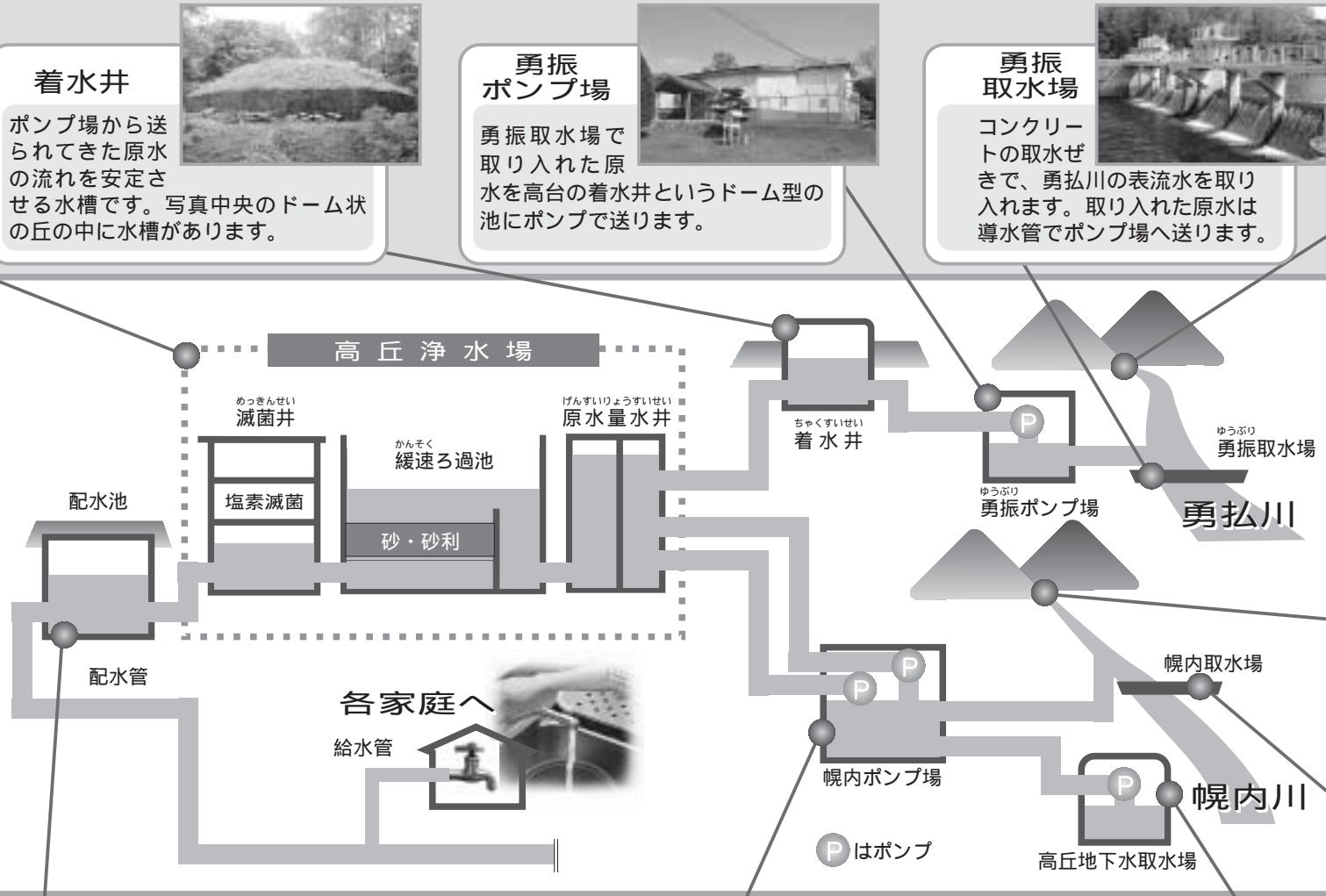


水を砂と砂利の層と微生物のろ過膜に通します。左右に6面の池があります。

#### 3 滅菌井



塩素を加え混合し、完全な水道水にします。中央のパイプより塩素が出ています。



### 配水池

水を安定的に市内へ配水するため、水をためておく池です。浄水場前の地下(写真の地下)にあります。

### 幌内ポンプ場

幌内取水場で取り入れた原水を、浄水場内の原水量水井へポンプで送ります。

### 高丘地下水取水場

大雨や災害などの非常時に地下水を取水し、高丘浄水場に送ります。

### 勇払川源流部



勇払川は延長22kmの2級河川で、国道276号線の脇に水源があります。苫小牧の水道水の始まりがここにありま

### 幌内川源流部



幌内川は延長4.7kmの2級河川で、北海道大学苫小牧研究林の北西部に水源があります。源流部は手付かずの自然があります。

### 幌内取水場



コンクリートの取水せきで、勇振取水場と同様に表流水を取り入れます。取り入れた原水は導水管でポンプ場に送ります。

# おいしい水ができるまで

おいしい水のまち苫小牧。その水を知ろう！

苫小牧の水道水は樽前山の山ろくに源を持つ幌内川、勇払川、錦多峰川の3つの河川から取水した水で作られています。苫小牧の水道水ができるまでの過程とおいしい水を守るための取り組みについてお知らせします

詳細 上下水道部総務課 ☎(32)6628

### おいしい水とは

おいしい水とは安心して飲むことができ、水の中に味を良くする成分が適度に含まれている水のことです。苫小牧の水道水は、厚生省(現在の厚生労働省)の「おいしい水研究会」によって、人口10万人以上の198都市の中から「水道水のおいしい都市」32都市の一つに選ばれ、全国的においしい水道水であることが認められました。

### おいしい水の秘密

おいしさの秘密は取水する幌内川、勇払川、錦多峰川の水质の良さにあります。これらの河川は、緑豊かで広大な樽前山の山ろくに源をもち、樽前山の噴火によりできた6m以上の火山れき層に、雨や雪解け水が深く浸透してわき出たものです。そのため、土や岩などの成分が水に溶け出し、天然のミネラル分が適度に含まれています。さらに、河川の水质が清浄であるため、注入する塩素が少量で済んでいます。また、取水場まで日の当たらない沢を流れるため、水温が平均10℃と低いことも、おいしいと感じる理由の一つとなっています。

### 水道水ができるまで

幌内川、勇払川の水は高丘浄水場へ、錦多峰川の水は錦多峰浄水場へ導水され、水道水に処理されます。水质や需要の特性に合わせて異なる浄水方法により、安全で快適な水道水を作っています。

### 高丘浄水場系

高丘浄水場では、緩速ろ過方式で水道水を作っています。緩速ろ過方式は、水を緩やかな速度で細かな砂や砂利の層に通し、水をきれいにする方式です。砂層の表面に微生物の膜ができ、この膜の働きにより、濁り、臭味、細菌などが効果的に除去されます。そのため、塩素による消毒以外に薬品を使用することなく、安全でおいしい水になります。この方式には広大な敷地ときれいな原水が必要であるため、この浄水方法を導入している施設は全国で3%程度にとどまり、自然豊かでない水のおいしい水からこそできると言えます。一日の平均給水量は約3万m<sup>3</sup>で、4つある配水池には約13時間分の水が蓄えられます。出来上がった水道水は、市内中央・東部地区に給水しています。